2021/04/07

2021年度
静岡英和女学院中学校・高等学校　入学式

聖書　ルカによる福音書　10章25-28節
　すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」

マスクの向こう

　もう桜から新緑の季節へと変わり、鶯の鳴き声も聞こえる頃となりました。

　本日、晴れて静岡英和女学院に入学された中学1年生、青の学年58名、高校1年生、赤の学年79名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆様、お嬢様のご入学、心よりお慶び申し上げます。神様の祝福の下、お嬢様が成長されますようにお祈り致します。

　本日は、新入生皆さんが卒業された学校の先生方、関係される個人、団体の皆様からもお祝いのメッセージが寄せられています。そして壇上の花も白に学年カラーの青と赤の花が生けられ、皆さんを祝福しています。

初めに、皆さんが神様によって選ばれ、英和女学院に集められたことに感謝を献げます。そして、これから6年間、3年間、神様が共におられて、皆さんを慰め、励まし、成長させて下さることを信じお祈りします。

さて私たちはマスクの生活を続けて、もう1年以上になります。お互いの表情が見えないまま言葉を交わす時、お互いの気持ちが通い合っているのか不安を感じることはありませんか。そんな時、どういうわけか、私は思い出したことがいくつかあります。

私が結婚し小さな命を授かりました。最初の子は女の子でした。そして続けて次の年に男の子を授かりました。まだ2人が幼い頃、下の息子が何か言っているのですが、意味がわかりませんでした。すると娘が通訳をしてくれるのでした。娘は弟の気持ちを感じて、言葉にしてくれたのです。年の近かった二人には、言葉以上に通じるものがあったのでしょう。

また幼い子どもたちに続いて子犬が家族に加わりました。今度は成長しても人間の言葉を交わせません。それでも少しずつ顔の表情、視線、鳴き方、吠え方、声の大きさ、素振りや態度で何を訴えているのかわかり、性格まで感じられるようになりました。そして彼も家族の気持ちをよく感じて、家族を慰め、励ましてくれました。

家庭菜園で野菜を作っていた頃のことです。今度は表情どころか目に見える動きも、声も音も出しません。ところが毎日、毎日、ただ見守り、声をかけ、失敗をくり返すたびに教わるのです。夏野菜でも雨を嫌がり、水を控えた方がいい野菜、栄養のない土を好む野菜があることも知りました。また

枯れたと残念に思っていたら、実は収穫を知らせる合図だと知ることもありました。何度も何度も失敗しては、成長と実りに驚かされました。

　そして花壇を作って草花を育てている時です。こちらも失敗ばかりですが、花も日向、日陰、水をあげたり控えたり、もう枯れたと思ったら根っこが生きていて、春の訪れと共に芽を出し、青々とした葉を広げ「私は生きている」と主張しています。種蒔きも1つのポットに2粒蒔くと、1粒蒔く時よりも競って芽を出すことも知りました。どれもこれも違い、本当に不思議で驚かされます。

　私は幼い子と、動物と、野菜や草花と向き合って、言葉が交わせなくても、表情がわからなくても、沈黙の中で、風の流れを感じて、暖かな日差しに包まれながら、いつの間にか大切なことを学んでいたのでした。

　今、私たちはマスクをし、今まで当たり前だと思っていたことができません。思う存分お喋りすること、向き合って食事をすること、笑顔を見せ、大声で笑い合うこと、手を握ることは控えなければいけません。不自由なだけではなく、遠くに離れている家族と会えず寂しく、心配で、不安です。
　しかしパンデミック（世界的な感染症）となって、神様はマスクの向こうにある他者の思いを感じる、想像する、思いやることの大切さを教えて下さっているのではないでしょうか。
　目に見えない、沈黙の中にあるからこそ感じられるものがあります。本当のこと、本物、最も大切で必要なことが明らかになります。私たちが忘れていたことを、神様は気づかせて下さっています。

英和女学院は、毎朝、聖書の言葉が与えられ、神様の愛と隣人を自分のように愛すること、互いに愛し、仕え合うことを確かめられる学校です。

どうか、皆さんがどんな時でも、神様の祝福と導きの下で学び、学び合い、神様に選ばれ、英和女学院に集められた意味を感じ、成長されますようにお祈りしています。

2021 年 4 月 7 日

静岡英和女学院中学校・高等学校

校長　大 橋　邦 一